

“Get a Geta”

1. 目標

- ①練習の成果を生かし、木材   を楽しむ。
- ②木材以外の   にも親しむ。
- ③   な作品を完成させ、はきごちを楽しむ。
- ④来た時よりも  しく技術 da 部屋を使いこなす。

2. 部品表と工程表

材料取り図と照らし合わせてみよう。

部品番号	品名	材質	仕上がり寸法 厚さ×幅×長さ (mm)	個数
①②③	歯	桐 (無垢材)	12 × 30 × 110	3
④⑤	台	()	12 × 110 × 250	2
⑥	鼻緒	布・綿・厚紙・綿糸	6.0	2
⑦	釘	真鍮 <small>しんちゆう</small>		4
⑧	前金	()		2

その他

	品名	ポイント
①	接着剤 (酢ビ)	<ul style="list-style-type: none"> _____なくのばす。 _____せたウエスで拭き取る。 クランプやバイスなどで_____する。
②	紙やすり (サンドペーパー)	<ul style="list-style-type: none"> 木目と_____に動かす。
③	ワックス (キヌカ)	<ul style="list-style-type: none"> 資料を見て、ウエスで塗る。 よく乾燥させる。
④	ウエス	<ul style="list-style-type: none"> 自宅で不要な布を持参してもよい

作品完成までの道のりを確認しよう。

工 程	作業内容	使用工具・機械
①	材料取り 1. 板材に_____をする。 2. _____ 寸法線にそって_____ をする。	さしがね 両刃のこぎり
②	部品加工 1. 仕上がり寸法に削る。 2. 下穴をあける。 3. 歯の接着をし、_____ で固定する。 4. _____ 、修正をする。 5. 歯の切断をする。	鉋 ベルトサンダー 卓上ボール盤 クランプ 直角定規 両刃のこぎり
③	組み立て 1. _____ 組み立てをする。 2. 接合部のけがきをする。 3. 接着剤を塗る。 4. _____ を打ち、_____ する。 5. 検査、修正をする。	セロテープ さしがね 酢ビ 木槌 クランプ 直角定規
④	仕上げ 1. 紙やすりで_____ づくりと_____ とりを行う。 (OP) トリマー 2. (OP) ガスバーナーで焼き、ブラシをかける。 3. ワックス (キヌカ) をウエスで塗り、乾燥させる。 4. _____ を使って鼻緒を_____ げる。 5. 結び目に前金を被せ、_____ で釘を打つ。	紙やすり ガスバーナー ワイヤブラシ ウエス 目打ち げんのう
⑤	完成・提出 1. 作品に名前をつける。 2. 耐久試験を受ける。 3. 履いてみる。	

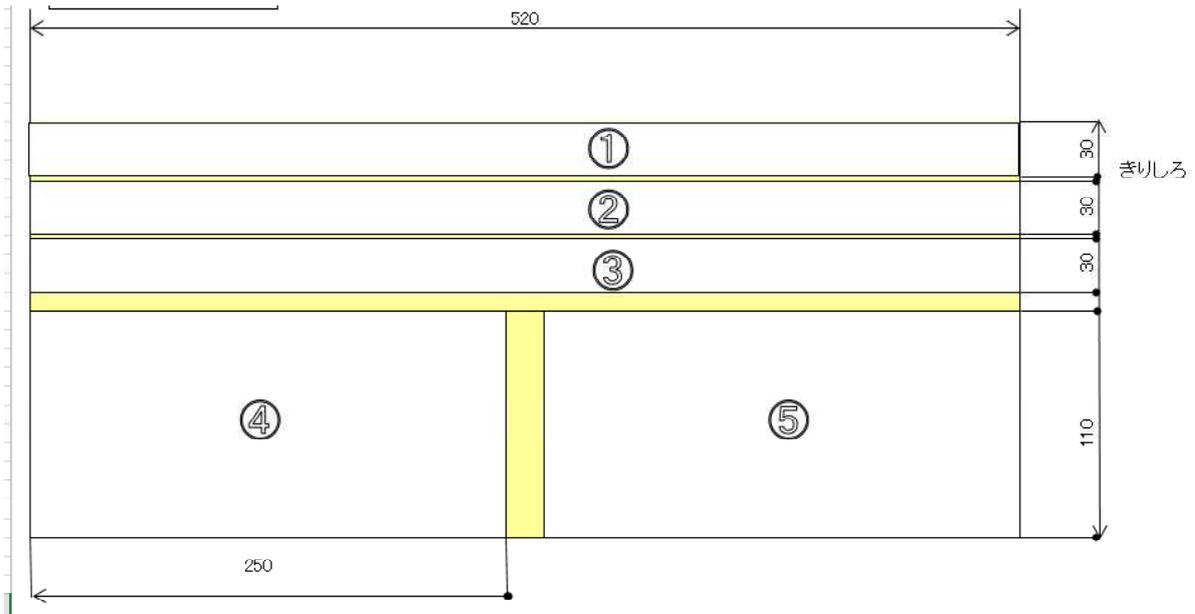
3.製作のポイントと記録

①材料どり

歯のけがきと切断

作業日 月 日

- ①は切断済み
- ②をさしがねでけがいて両刃のこぎりで切断する。切断面はかんなをかけてまっすぐにする。
- ③も同様に行う。
- 各部材に名前と部品番号を記入する。

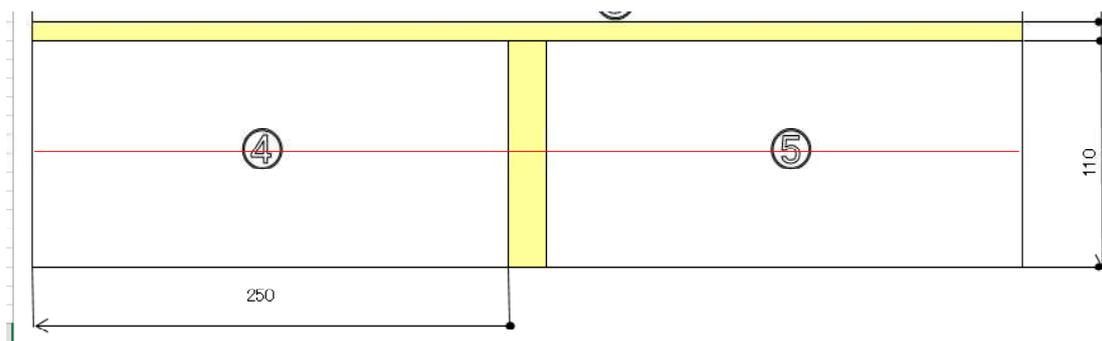


②のけがき線をまっすぐ引くことができた (31 ~ 33)	3	・	1	・	0	/12
②をまっすぐに切断できた (垂直に立つ)	3	・	1	・	0	
③のけがき線をまっすぐ引くことができた (31 ~ 33)	3	・	1	・	0	
③をまっすぐに切断できた (垂直に立つ)	3	・	1	・	0	

台のけがき

幅を 110 にあわせる。→ _____ 盤 (切り落としはとっておこう)

すじ _____ でセンターラインを引く。

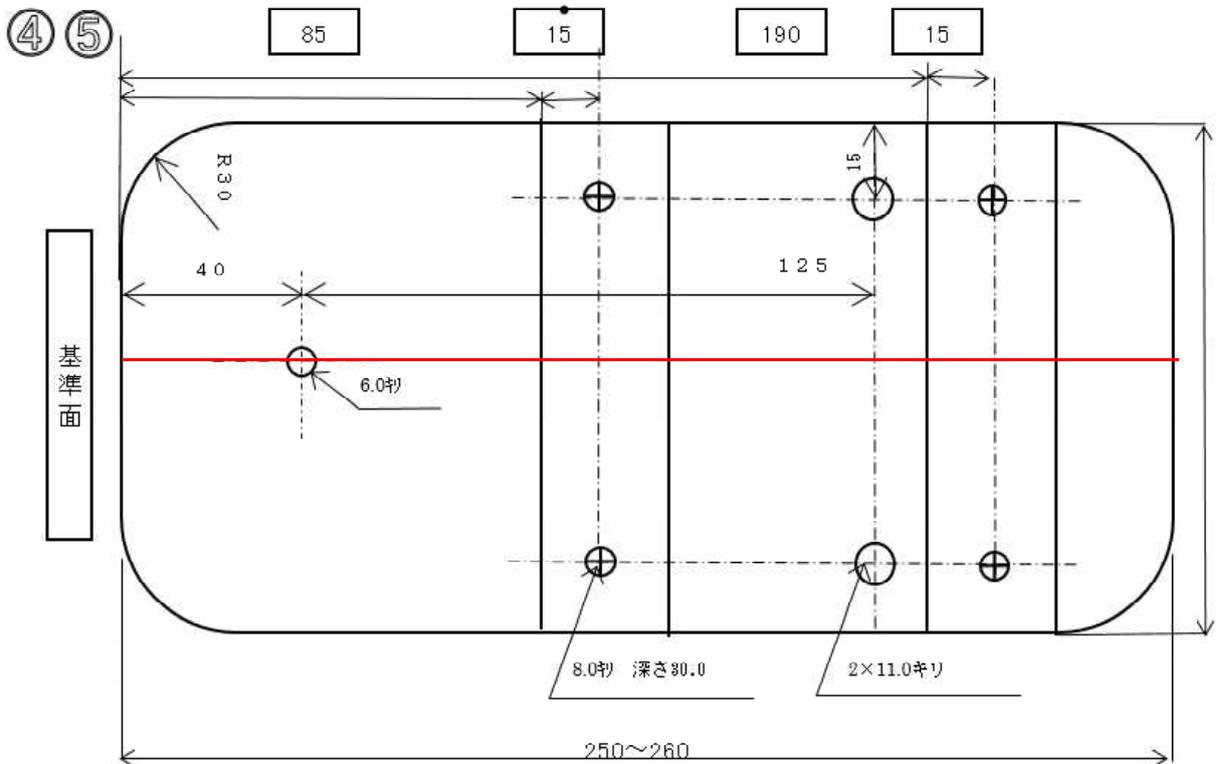


センターラインに印をつける→基準面から 40・85・100・165・190・205
 鼻 歯 だ 鼻 歯 だ

④だけさがしがねで線を引く。穴あけの印は_____。

R30 (め _____) は _____ 30mm の _____ を描く →

⑤は 85・190 の線だけ引く。
 歯 歯



④のけがき線をただしく引くことができた (班の中で並べてみる)	3	・	1	・	0	
⑤に歯の線を引いてある。	3	・	1	・	0	
④に面取りの線を引くことができた。	3	・	1	・	0	
すじけびきで直線を引くことができた。	3	・	1	・	0	/12

②部品加工

歯の接着

作業日 月 日

あらかじめ布を湿らせておく。

①と③の片面に酢ビを塗り、②をサンドイッチする。

_____面を下に向け、上から押しつける。

クランプで_____する。→放課後必ず戻すこと。



基準面を平らに接着することができた。	3	・	1	・	0	
はみ出たりこぼれた接着剤をきちんと拭き取った。	3	・	1	・	0	
布をきれいに洗った。	3	・	1	・	0	
クランプをきちんと片付けた。	3	・	1	・	0	/12

歯の修正と切断

作業日 月 日

基準面を下に向け、_____盤で上の面を平らに削る。

下駄の幅より5mmほど長めにけがく。



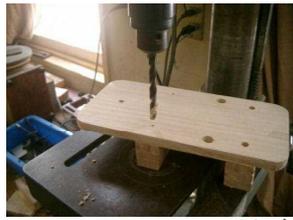
角材はさしがねよりも_____定規のほうが使いやすい。

のこ身が_____に見えるよう、切り口を垂直に切断する。



4本すべてに名前を記入する。

直角定規でけがくことができた。	3	・	1	・	0	
ほぼ垂直に切断することができた。(立ててみる)	3	・	1	・	0	
_____びき用の刃を正しく使うことができた。	3	・	1	・	0	
柄_____を持つてのこびきができた	3	・	1	・	0	/12



だぼ

鼻緒

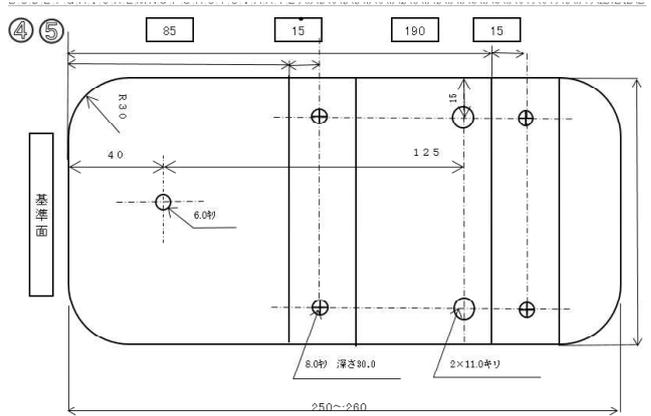
金工室	3.0		全部
	3.0		
	3.0		
	8.0		1号
	8.0		2号
	6.0		3号
	11.0		

④と⑤を重ね、_____でとめる。

※だぼ穴と眼（鼻緒の穴）7個すべてφ_____で通し穴をあける。



鼻緒の穴（6.0と11.0×2）をあける。



※角を大まかに切断し、_____で転がすように動かして丸くする。

※はどちらが先でも良い。

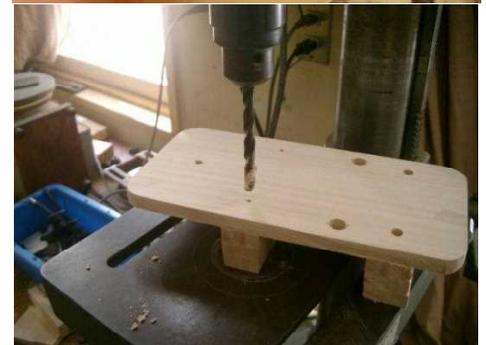
ここまで終えたら④と⑤のセロテープをはがす。

歯と台をセロテープで仮_____する。

表に見える穴を目印にだぼ穴φ8.0をあける。

この写真が貼ってあるボール盤を使う→

注：台の高さ（穴の深さ）を変えない。
_____板を敷かない。



きれいな曲線の面取りができた。

3 ・ 1 ・ 0

2枚重ねて正しい位置に穴あけをできた。

3 ・ 1 ・ 0

仮組立をして_____穴を開けることができた。

3 ・ 1 ・ 0

ボール盤など次の人のためにきれいにした。

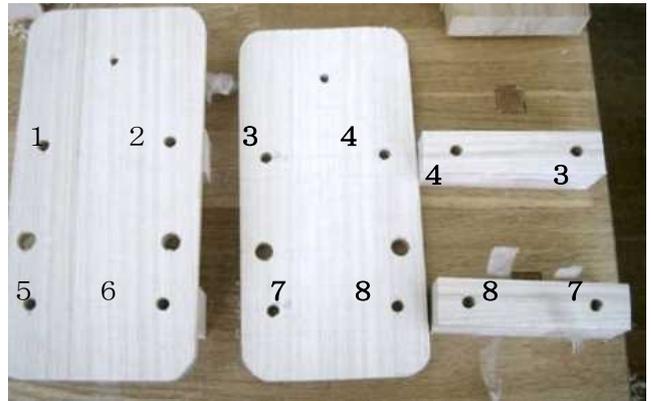
3 ・ 1 ・ 0

③組み立て～ガッチリ

☆☆☆台と歯の接合☆☆☆

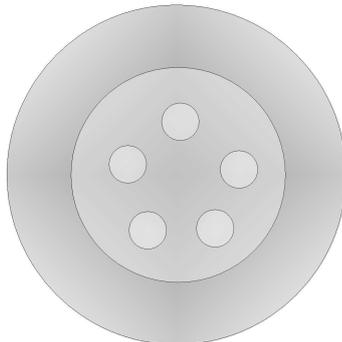
作業日 月 日

仮組立の部材を外し、すぐに番号を書く。



歯に接着剤を塗り、だぼを打つ。

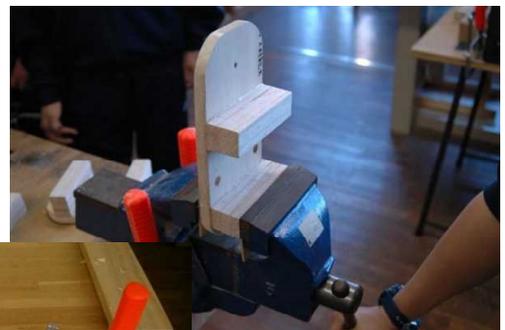
<二本以上のピンを打つとき>



_____ で軽く締め付ける。



接着剤の拭き取り忘れずに！



クランプで固定する。



あけた穴に番号をつけた。

3 ・ 1 ・ 0

歯にしっかりと接着剤を塗った。

3 ・ 1 ・ 0

万力で締め付けた。

3 ・ 1 ・ 0

クランプをきちんと片付けた。

3 ・ 1 ・ 0

/12

④仕上げ～ツルピカ

下地づくりと面取り

作業日 月 日

紙やすりは木目に対して_____に動かす。

角張ったところはすべて面取り！

希望者には_____をかける(必ず教師がつく)。

ア	イ	ウ
---	---	---

焼き桐仕上げ(OP)とワックスがけ

バーナーがけは決まった場所で行う。

Ⓣ燃えそうになったらワイヤブラシで_____する。

ブラシがけはなるべく_____で行う。(天候次第)

キヌカを_____につけ、木目に沿って_____度塗りし、乾燥させる。



下地をきれいに磨くことができた。	3	・	1	・	0	
すべての角を面取りした。	3	・	1	・	0	
キヌカを一度塗りした。	3	・	1	・	0	
塗装の後良く乾燥させた。	3	・	1	・	0	/12

鼻緒すげ～指先は

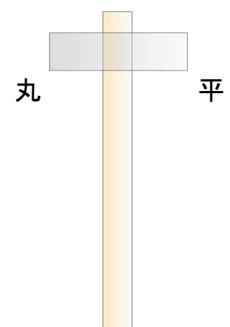
のスイッチ！

鼻緒を通しやすいように_____で穴をグリグリしてツルツルにする。

別紙の要領ですげる。

_____を使い金具を釘で留める。

名前つけて提出する。



目打ちで穴をグリグリした。	3	・	1	・	0	
鼻緒をすげることができた。	3	・	1	・	0	
釘打ちができた。	3	・	1	・	0	
名前をつけて提出した。	3	・	1	・	0	/12